


		前々回 (H23.1.25)	前回 (H27.8.25)
社会情勢		1 少子高齢化の一層の進展 2 単身世帯やひとり親世帯の増加 3 経済の低迷と不安定な雇用情勢 4 グローバル化の進展	1 少子高齢化の一層の進展 2 依然として不安定な雇用情勢 3 単身世帯やひとり親世帯の増加
課題		1 政策・方針決定過程における女性の参画促進 2 仕事と生活の調和の推進 3 女性に対する暴力の根絶 4 様々な生活上の困難に直面する人々への支援 5 府民意識の向上 6 グローバル化への対応 7 推進体制の強化	1 男女共同参画による社会の活性化 2 仕事と生活の調和の推進 3 セーフティネットの充実 4 女性も男性も共感できる男女共同参画 5 地域力アップへの支援 6 官民協働による推進体制の充実・強化
計画策定に関する基本的な考え方	基本理念	1 男女の人権の尊重 2 固定的役割分担等を反映した制度・慣行が男女共同参画へ影響しないよう配慮 3 政策・方針の立案・決定へ男女共同参画 4 家庭生活と他の活動の両立 5 国際社会における取組への考慮	同左
	計画期間	前回10年から5年に変更	5年
	数値目標	実効性のある数値目標を設定すること	具体的な数値目標を設定すること
目指す社会		1 誰もが個性と能力を発揮する多様性 2 仕事と生活の調和 3 性別に関わらず安心な生活、人権尊重 4 アジア、世界から評価される社会	1 あらゆる分野における女性の活躍 2 健やかに安心して暮らせる社会づくり 3 全ての世代における男女共同参画意識の醸成
方向性		1 男女共同参画による社会の活性化 2 仕事と生活の調和の推進 3 セーフティネットの充実 4 女性も男性も共感できる男女共同参画 5 地域力アップへの支援	1-1 男性中心の働き方の見直し、WLB 1-2 政策・方針決定への女性の参画 1-3 女性の活躍推進 2-1 生涯を通じた健康支援 2-2 女性に対する暴力の根絶 2-3 様々な困難を抱える人々への支援 3-1 子どもの頃からの啓発 3-2 男女共同参画意識の醸成 3-3 地域活動への参画促進 3-4 多文化共生の視点での男女共同参画
		 <p>プランの基本方針(柱立て)</p>	
取り組むべき事項		方向性1～5ごとに、具体的な取組例を記載	方向性1-1～3-4ごとに、具体的な取組例を記載
推進体制		1 オール大阪での連携体制 2 行政の推進体制の強化・充実	1 オール大阪での連携体制の一層の推進 2 行政の推進体制等の強化・充実